

## 平成 27 年度幸福実感日本一（政策）職員提案募集要領

### 1. 制度の趣旨

幸福実感日本一（政策）職員提案制度は、政策を提案し、実現する機会をつくり、以下の目的のため実施します。

(1)職員一人ひとりの意欲・能力の向上と組織の活性化を促します。

(2)幅広い知による政策形成を促すことにより、厳しい財政状況のなか、より少ない経営資源でより効果的な政策の立案につなげます。

### 2. 提案者

職員又は、職員で構成するグループ

### 3. 募集提案等

#### (1) 募集提案

(i)テーマ部門 別添「募集テーマ」を対象とします。

( )自由テーマ部門 「みえ県民カビジョン」の実現につながる事業を対象とします。

( )一口政策提案 いつでも匿名でも気軽に提案できる一口政策提案を募集します。提案内容は、テーマ部門、自由テーマ部門いずれかに関するものとします。

提案内容は現在の職務・担当業務に関連することを必要としません。

#### (2) 事業期間・事業費

提案する事業の期間や事業額は特に問いませんが、厳しい財政状況を踏まえ、費用対効果（より少ない経営資源で効果的な提案）を選考の主なポイント（後述 8）の一つとしており、ゼロ予算事業を歓迎します。

### 4. 応募方法

それぞれ D\*BOX に直接入力をお願いします。入力項目や入力に際しての留意事項は、別添を参照してください。なお、「テーマ部門」、「自由テーマ部門」の提案者氏名等を非公開としたい場合、D\*BOX にパスワードを入力の上、アンケートシステム「きくすけ」(以下アドレス)に提案者氏名等を入力してください。

(i) テーマ部門

< D\*BOX >

<http://ss110035/dbox/view/index.asp?INFO=TVN3eE5qZ3NhekEwTURBeU1BPT0%3D&p=1&>

< アンケートシステム「きくすけ」 >

<http://ss100163/scripts/enqsys/enq.asp?015146821363>

( )自由テーマ部門

< D \* BOX >

<http://ss110035/dbox/view/index.asp?INFO=TVN3eE5qY3NhekEwTURBeU1BPT0%3D>

< アンケートシステム「きくすけ」 >

<http://ss100163/scripts/engsys/eng.asp?015188517822>

(i)( )ともに、提案は簡潔にわかりやすい記述を心がけてください。(A4 2枚程度を想定しています。)

( )一口政策提案

<http://ss110035/dbox/view/entry.asp?INFO=TVN3eE5qa3NhekEwTURBeU1BPT0%3D&>

## 5. 提出期限等

(i)テーマ部門 7月10日(金)

( )自由テーマ部門 7月10日(金)

( )一口政策提案 通年で募集。テーマ部門に関する一口政策提案は9月30日(水)

## 6. 提案の取扱

(i)テーマ部門

- (1)提案を提出するにあたって、提案者は行財政改革推進課を通じて、テーマ設定部局に対して質問票(別添様式)を提出することができます。質問を受けたテーマ設定部局は、すみやかに回答することとします。
- (2)提案を提出後、希望する提案者には、テーマ設定部局と意見交換する機会を確保します。また、イントラネット上で「8.選考の主なポイント」に基づき他の職員からの賛同・共感の意見を募ります。なお、提案者は必要に応じて提案を再提出することができることとします。
- (3)テーマ設定部局において「8.選考の主なポイント」に基づき、課題解決に有効で事業等として採用できるかの視点により選考します。すべての提案について選考理由を付して提案者にフィードバックをします。なお、選考にあたって、テーマ設定部局は行財政改革推進課を通じて、提案者に対して質問票(別添様式)を提出することができます。質問・意見を受けた提案者は、すみやかに回答することとします。
- (4)テーマ設定部局は、提案選考の結果等を踏まえ事業化します。(必要に応じて予算要求)
- (5)テーマ設定部局は、提案選考の結果等を踏まえ、必要に応じて職員力公募制度により、提案内容を担当する職員を募集します。
- (6)提案については、事業化の状況、事業の成果等を踏まえ優良なものは、MIE 職員力 アワードにおいて表彰します。

( )自由テーマ部門

- (1)応募のあった提案について、イントラネット上で「8.選考の主なポイント」に基づき他の職員の賛同票を募ります。また、併せて、県政全般の幅広い観点などから提案の有効性を検討するために、三重県行財政改革推進本部幹事会幹事による審査を行います。
- (2)賛同投票の結果を50点満点、三重県行財政改革推進本部幹事会幹事による審査の結果を50点満点として、得票率に応じて得点化し、点数の高い5本程度の提案については、提案者と担当部局職員等が意見交換を行い、提案の実現可能性を探る機会を設けます。
- (3)担当部局は提案内容が今後の事業推進のために参考となるかどうかを検討します。また、必要に応じて職員力公募制度により提案内容を担当する職員を募集します。なお、検討にあたって、担当部局は行財政改革推進課を通じて、提案者に対して質問票（別添様式）を提出することができます。質問・意見を受けた提案者は、すみやかに回答することとします。
- (4)担当部局において事業推進のために参考としたものは、1月末に公表します。
- (5)提案については、事業化の状況、事業の成果等を踏まえ優良なものは、事業化年度末のMIE職員力アワードにおいて表彰します。

( )一口政策提案

- (1)応募のあった提案は、一旦9月末にとりまとめ、今後の事業推進の参考として関係部局へ情報提供を行います。
- (2)担当部局において事業推進のために参考としたものは、1月末に公表します。
- (3)10月以降応募のあった提案については、次年度以降の9月末において関係部局へ情報提供を行う予定です。（D\*BOXへの応募投稿のため、各部局は随時参考とすることは可能です。）

7. スケジュール

	テーマ部門	自由テーマ部門	一口政策 提案	
5月中旬	提案募集テーマ締切			
5月29日	三重県行財政改革推進本部周知 職員提案募集開始			
6月	質問票提出（希望者のみ）		通 年 で 募 集	
7月10日	職員提案締切	職員提案締切		
7月下旬	職員賛同意見募集 質問票提出（希望担当課のみ） 提案者と担当課の意見交換（希望者のみ）	職員賛同票募集 三重県行財政改革推進本部幹 事会幹事審査 質問票提出（希望担当課のみ）		
	8月上旬	意見交換を踏まえ、必要に応じ て提案の再提出		提案者と担当課の意見交換 （5本程度）
8月下旬	採用提案の選考【部局選考】	意見交換を踏まえ、必要に応 じて提案の再提出		
9月上旬 （9月中旬） 9月下旬	選考結果の集約 （秋の政策協議）			関係部局へ 情報提供
10月	事業化の検討			
12月	職員力公募制度による職員募集			
1月下旬		事業推進の参考となったものを公表		
次年度4月	提案をふまえた事業の実施			
次々年度2月 予定	事業化の状況、事業の成果等を踏まえ事業化年度末の「MIE 職員力 アワード」 において提案制度として表彰			

## 8. 選考の主なポイント

応募のあった提案は、テーマが抱える課題に対して、次の(1)～(6)の視点から選考します。

### (1)費用対効果や手段の有効性

投入した資源（インプット）に比べて事業の内容（アウトプット）が妥当か。効果額が妥当か。また事業の内容（手段）は効果に対して有効で現実的であるか。

### (2)重要性・緊急性

厳しい財政状況のなか、実施内容は、重要で緊急性があるか。次年度に事業を実施する必要があるか。

### (3)県関与の妥当性

県が関与して事業を行う必要があるか。

### (4)協創の推進の視点

協創の観点を盛り込んでいるか。

### (5)独創性

アイデアが既存の取組と一線を画するものであるか。新たな視点や工夫が含まれているかどうか。

### (6)その他期待できる効果

人材育成等の波及効果が将来的に期待できるか。

## 9. 問い合わせ先

総務部行財政改革推進課 中村里会子（5226）、加藤栄二（5256）

Tel 059 - 224 - 2231

【別添 入力項目と留意事項 (i)テーマ部門】

(実際は、D\*BOX への入力となります。)

1	【氏名等を公開する場合】	提案者所属(グループの場合、連絡担当者所属)	
		提案者氏名(グループの場合、グループ名及び連絡担当者氏名)	
		提案者連絡先(グループの場合、連絡担当者連絡先)	
	【氏名等を非公開とする場合】	パスワード(半角数字)	〇〇〇〇(任意の4桁の数字を記載してください)
2	応募テーマ		
3	提案概要		150字程度(提案の内容、趣旨を簡潔に記載してください。)
4	提案事業の必要性と期待される効果		テーマ担当部局が課題ととらえていることをどのように分析し、解決していくのか、なぜ今回の提案事業が必要であるかを記載してください。また提案事業の実施によって期待される効果についても記載してください。
5	提案事業内容		事業化に向けた実現可能性を踏まえ、具体的でわかりやすい詳細な提案をお願いします。 提案の実現に向けて想定される課題やその解決策などもあれば記載してください。
6	選考にあたってのPRポイント		(1)費用対効果や手段の有効性  (2)重要性・緊急性  (3)県関与の妥当性  (4)協創の推進の視点  (5)独創性  (6)その他期待できる効果

D\*BOXで提案者氏名等を非公開とする場合のみ、パスワードを入力してください。別途、提案者氏名等を入力するアンケートシステム「きくすけ」との突合に使用します。なお、提案者氏名等は必ず投稿後、3日以内に「きくすけ」に入力してください。3日以内に入力が無かった提案は事務局で削除します。

～D\*BOX で提案者氏名等の非公開を希望する場合～

( 実際は、アンケートシステム「きくすけ」への入力となります。 )

1	パスワード (半角数字)	〇〇〇〇( D*BOX に記載したものと同一数字を記載してください。 )
2	応募テーマ	
3	提案者所属(グループの場合、連絡担当者所属)	
	提案者氏名(グループの場合、グループ名及び連絡担当者氏名)	
	提案者連絡先(グループの場合、連絡担当者連絡先)	

【別添 入力項目と留意事項 ( )自由テーマ部門】

( 実際は、D\*BOX への入力となります。 )

1	【氏名等を公開する場合】	提案者所属(グループの場合、連絡担当者所属)	
		提案者氏名(グループの場合、グループ名及び連絡担当者氏名)	
		提案者連絡先(グループの場合、連絡担当者連絡先)	
	【氏名等を非公開とする場合】	〇〇〇〇( 任意の4桁の数字を記載してください )	
2	提案タイトル		
3	提案事業担当課名		
4	提案概要	150字程度( 提案の内容、趣旨を簡潔に記載してください。 )	
5	現状		
6	めざすべき姿		
7	課題		
8	提案事業の必要性と期待される効果	課題ととらえていることをどのように分析し、解決するのか、なぜ今回の提案事業が必要であるかを記載してください。また提案事業の実施によって期待される効果についても記載してください。	

9	提案事業内容	事業化に向けた実現可能性を踏まえ、具体的でわかりやすい詳細な提案をお願いします。 提案の実現に向けて想定される課題やその解決策などもあれば記載してください。
10	PR ポイント	(1)費用対効果や手段の有効性 (2) 重要性・緊急性 (3) 県関与の妥当性 (4) 協創の推進の視点 (5) 独創性 (6)その他期待できる効果

D\*BOXで提案者氏名等を非公開とする場合のみ、パスワードを入力してください。別途、提案者氏名等を入力するアンケートシステム「きくすけ」との突合に使用します。なお、提案者氏名等は必ず投稿後、3日以内に「きくすけ」に入力してください。3日以内に入力が無かった提案は事務局で削除します。

～D\*BOXで提案者氏名等の非公開を希望する場合～

(実際は、アンケートシステム「きくすけ」への入力となります。)

1	パスワード	〇〇〇〇 (D*BOXに記載したものと同一数字を記載してください。)
2	提案タイトル	
3	提案者所属(グループの場合、連絡担当者所属)	
	提案者氏名(グループの場合、グループ名及び連絡担当者氏名)	
	提案者連絡先(グループの場合、連絡担当者連絡先)	

【別添 入力項目と留意事項 ( )一口政策提案】

(実際は、D\*BOXへの入力となります。)

1	提案者所属、氏名	匿名の提案も可
2	提案タイトル	
3	提案事業担当課名	
4	提案内容	500字程度 ちょっとしたアイデアや事業実施にあたってのヒント程度の提案も可とし、詳細な事業設計までは求めません。



【別添様式】

幸福実感日本一（政策）職員提案制度 質問票

テーマ	
提案者所属・氏名 （グループ名）	
担当部 局・課名	
質問・意見	
質問・意見の意図	
質問・意見への回答	

【別添様式】（記入例）

幸福実感日本一（政策）職員提案制度 質問票

テーマ	M I E 職員カアワードへの応募数やM I E 職員カアワード発表会への参加者数を今まで以上に増やすための方策について
提案者 所属・氏名 (グループ名)	課 .
担当部 局・課名	総務部・行財政改革推進課
質問・意見	過去の応募事例について、現在はどのような手段で周知しているのか。
質問・意見の 意図	「優良事例の水平展開」を行うためには、職員が日常的に事例を確認できる状態が望ましいと考えるため。また、職員が新規応募する際には、過去の事例を確認することが想定されるため。
質問・意見への 回答	過去の応募事例や発表会の様子は、行財政改革推進課イントラサイトから閲覧できます。 <a href="http://dkint22/jinzai/keihin/kaizen/h26award.htm">http://dkint22/jinzai/keihin/kaizen/h26award.htm</a> 職員向けメールマガジンにて事例の紹介を行っています。また、メールマガジンのバックナンバーは、行財政改革推進課イントラサイトから閲覧できます。 <a href="http://dkint22/jinzai/keihin/sou/sou1.htm">http://dkint22/jinzai/keihin/sou/sou1.htm</a>

## 「テーマ部門」における募集テーマ一覧

	部局名	提案募集テーマ
1	防災対策部	消防団の充実強化による地域防災力の向上
2	戦略企画部	若者の県内定着に向けた高等教育機関との連携
3	総務部	みえ成果向上サイクル（スマートサイクル）のバージョンアップについて
4	総務部	ワーク・ライフ・マネジメントの推進に向けた、業務プロセス・ルール等の見直しについて
5	健康福祉部	若年層の献血対策について
6	環境生活部	気候変動に適応できる安全・安心な地域の実現へ（適応策の推進）
7	地域連携部	公共交通（鉄道、バス等）の適切な利用に向けた県民意識の育成について
8	農林水産部	三重の農林水産業を担う多様な人材の育成について
9	農林水産部	効果的な鳥獣捕獲とジビエ利活用の促進について
10	雇用経済部	伝統産業・地場産業を活性化し、三重のものづくりを継承する「10年先の三重のものづくりのために」
11	雇用経済部	「日本一のバリアフリー観光県」の実現に向けて
12	県土整備部	次期「三重県建設産業活性化プラン」における取組
13	県土整備部	公務員（土木、建築職）の魅力をPRし、優秀な人材の確保につなげる方策
14	教育委員会事務局	開かれた学校づくり
15	教育委員会事務局	ネット社会を生き抜く力の育成